

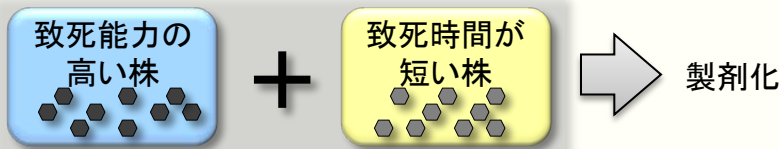
新微生物農薬「ハスモンキラー」による ダイズのハスモンヨトウ防除

ハスモンヨトウは、広範囲の作物を加害する難防除害虫で、薬剤に対する抵抗性の発達が速く、化学農薬に対する感受性の低下が問題となっています。

そこで、ハスモンヨトウに対して殺虫効果が高い天敵微生物を自然界より分離選抜し、製剤化のための共同研究を実施した結果、揖斐川工業株式会社（本社、岐阜県大垣市）により新規微生物農薬「ハスモンキラー」として製品化され、平成24年3月21日に農薬の登録認可（農林水産省登録第23056号）を受けました。このことから、販売・普及に向けて、ダイズ現地圃場において効果の実証と効果的な散布方法を検討しました。

自然界より有効な天敵ウイルス2株を分離選抜し混合してあります。

（特許第4109146号）



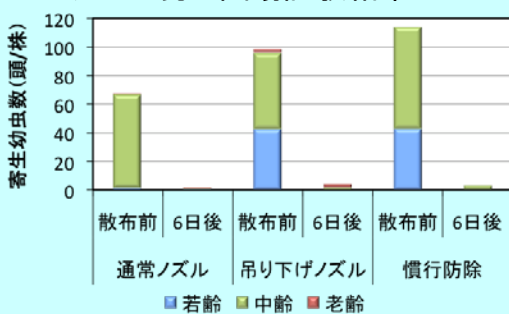
製品サンプル

新微生物農薬の製品概要

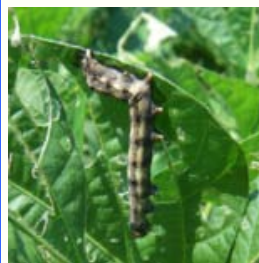
商品名 : ハスモンキラー
 種類名 : ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス水和剤
 適用害虫 : ハスモンヨトウ
 適用作物 : ダイズ、エダマメ、イチゴ、シソ、バジル

- ・ぎふクリーン農業では使用成分回数にカウントされません
- ・使用時期や回数に制限がなく、抵抗性もつきにくいです
- ・ミツバチや天敵昆虫に対する影響がありません

ダイズ現地圃場試験結果

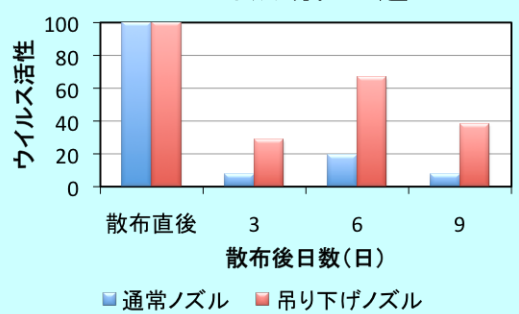


慣行防除区: テルベンスロン乳剤散布



致死した老齢幼虫

ノズルによる残効性の違い



ウイルス活性: 散布直後を100とした相対値

(研究成果)

- ・ハスモンヨトウに対する新規微生物農薬「ハスモンキラー」を開発しました。
- ・齢期の異なるハスモンヨトウが混在するダイズ現地ほ場においても化学農薬と同等の高い防除効果を得ることができます。
- ・吊り下げノズルを用いて散布することで紫外線の影響を受けにくい葉裏への有効成分ウイルスの付着量を増やし、より長い残効が得られます。
- ・ハスモンヨトウに対して十分な防除効果が確認され、ぎふクリーン農業を推進する資材として活用が期待されます。